

平成 23 年 5 月 6 日

上越市長 村山 秀幸 様

浦川原区地域協議会
会長 藤田 宏 禎

災害時における市の温泉施設の被災者への無料開放に
関する意見について

このことについて、当協議会では平成 23 年 4 月 28 日の地域協議会で下記のとおり意見を取りまとめましたので次のとおり提出します。

記

去る 3 月 12 日の長野県北部地震において、大島区、安塚区の一部の地域が大変大きな被害を受け、建物の倒壊や断水により、入浴や洗濯ができない状況になりました。

大島区の大山温泉あさひ荘はいち早く被災者への無料開放に踏み切り、地元の被災者はじめ、お隣の十日町市松代・室野地区の被災者の受け入れもされ、市の枠を越えての対応に大変喜ばれたと聞いていますが、浦川原区の霧ヶ岳温泉ゆあみは被災地の近隣区でありながら無料開放をしませんでした。

上越市の温泉施設も観光施設というだけでなく、市民福祉も担うものでなければならぬと考えます。今回の迅速な行動に欠けた市の対応は誠に不適切であります。

つきましては、災害時には被災者の心情を考え、浦川原区のみならず、近隣区も含めて全市の被災者を対象に、観光のみではなく被災者の心のゆとりの回復の観点から霧ヶ岳温泉ゆあみを無料開放するよう強く望みます。あわせて、災害時には迅速な情報収集と速やかな行動が求められることから、被災者への無料開放について、総合事務所長への権限移譲を強く望みます。